



第2号

令和2年9月発行

まだまだ暑い日が続きますが、朝夕は少しずつ過ごしやすくなり秋の気配が感じられます。美味しい旬の物を食べて、体を動かして、しっかり睡眠をとって元気に過ごしたいです。

8月に、第6回全国病児保育協議会山梨県支部研修会が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、zoomにてオンラインで行われ、8つの病児保育施設が参加しました。

こどもの森クリニック院長 森浩行先生の講演「小児のアレルギー 食物アレルギーを中心に」で学びを深め、各施設から現状報告をしました。途中でゲリラ豪雨・落雷がありました。滞りなく進行し、来年は例年通りの開催をお互いに願いつつ結びました。

コロナ禍で日常が変化していく中、気持ちがふさぎ込みそうになりがちですが、共に頑張る仲間がいることは大きな励みになることを強く感じました。これからも、病気でつらい思いのお子さんや親御さんの気持ちに寄り添ってよりよい保育をしていきたいと思えます。

2歳未満の子どもにマスクは不要、むしろ危険！

日本小児科医会から出されたメッセージです。小さいお子さんは①呼吸する空気の通り道が狭いので、マスクをすることで呼吸しにくくなる。②呼吸や心臓への負担になる。③マスクによって熱がこもり熱中症のリスクが高まる。④マスクそのものや嘔吐物による窒息のリスクが高まる。⑤口周囲をマスクで覆うため、顔色や唇の色などの表情の変化の気づきが遅れる等が心配されます。

今年は特にインフルエンザワクチンをしましょう

WHOからインフルエンザワクチンの重要性が強調されています。毎年流行するインフルエンザが、おそらく今冬もやってくると思われます。今冬はコロナ・インフルエンザ両方の対応が必要になります。まだコロナのワクチンはありません。インフルエンザワクチンをしてまずインフルエンザ対策を考えましょう。ワクチン数は限られていますので、今年は早めに予約をしておくことをお勧めします。

(ちびっこぶれす2020.9 引用)



ある日の病児室の出来事

久しぶりにご利用することになった3才の〇〇くん。入室時はお母さんと離れたくなくて涙がこぼれてきました。すると「前に来た時遊んだ玩具で遊んだら？ほら、写真あったじゃない。」とお母さん。その玩具を用意すると興味をもって遊び始め、お母さんに笑顔で手を振りいってらっしゃい！その後じっくり取り組むと別の玩具にも興味をわいてきて一日楽しく過ごせたようです。お迎えに来たお母さんに「明日もまたくる。」と言い、親子で笑顔の帰宅となりました。



病児保育室 ドリーム

山梨県中巨摩郡昭和町河東中島748-1

TEL:055-268-5578 FAX:055-268-5598

<http://www.genkikids-clinic.com>

ホームページより各種用紙（登録申込書・利用申込書・連絡票）がダウンロードできます